

無停電電源装置 (UPS)

BV シリーズ

BV100REM

BV100REX

BVM100X

電源出力ロック解除手順 ～ユーティリティ編～

電源出力ロック解除手順書

電源出力ロックを解除する

キーコードを使用して BV100REM / BV100REX（以降 UPS といいます）、BVM100X（以降増設バッテリーユニットといいます）の電源出力ロックを解除します。本手順では UPS 設定ユーティリティを使った解除について説明します。

1. UPS 設定ユーティリティとは

UPS 設定ユーティリティは Windows OS^{※1}上で動作するアプリケーションで、UPS と増設バッテリーユニットの製品番号を一括取得、電源出力ロックを一括解除できます。増設バッテリーユニットを複数台併用する構成では有用な方法です。

<UPS 設定ユーティリティ対応 OS>

対応状況は、UPS 設定ユーティリティダウンロードページをご覧ください。

<UPS 設定ユーティリティダウンロードサイト>

https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/soft/upsutility/upsutility_rev2.html

※1 Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。

2. UPS を商用電源に接続する

本項は UPS を商用電源に接続していない場合の手順です。既に UPS を商用電源に接続している場合は、「3. 電源出力ロックを解除する」(P.3) に進んでください。

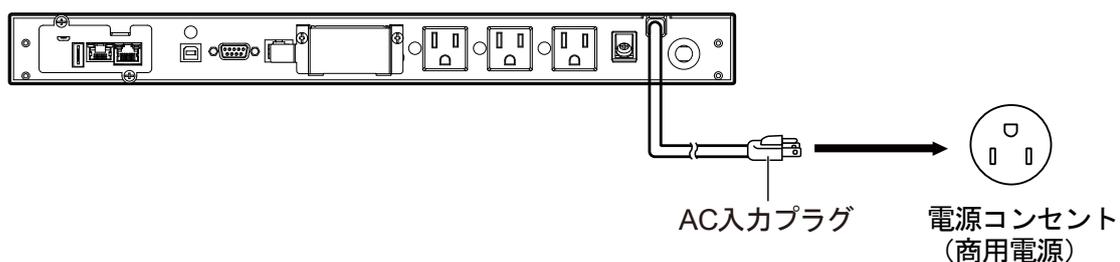
1. UPS を開梱します。
2. UPS の AC 入力プラグを電源コンセント（商用電源）に接続します。

注意

増設バッテリーユニットを併用する場合は、UPS に増設バッテリーユニットを接続した後、商用電源に接続してください。

👉 「増設バッテリーユニットの接続と給電」(P.8)。

例：BV100REM



参考

UPS に電力が供給されると  が点滅（2 秒間隔）、 が点灯します。

3. 電源出力ロックを解除する

UPS 設定ユーティリティを使って電源出力ロックを解除します。本手順では UPS 設定ユーティリティ Ver.5.00 を例に説明します。既に UPS 設定ユーティリティを使用されている場合は、次ページの手順 4 から始めてください。

1. PC と UPS を UPS 付属の USB ケーブルで接続します。



注意

BV100REM には USB ケーブルが 2 種類同梱されています。上の写真にある様にコネクタの片側が Type-B のケーブルをご使用ください。

2. UPS 設定ユーティリティをダウンロードします。
ダウンロードサイトは以下のリンクをクリックするか、検索エンジンに以下検索キーワードを入力しアクセスしてください。

リンクアイテム	UPS 設定ユーティリティ
検索キーワード	「オムロン」「UPS 設定」

3. ダウンロードした「UPS_utility_ver500」をダブルクリックして開きます。

名前	種類
UPS_utility_ver500	ファイル フォルダ

参考

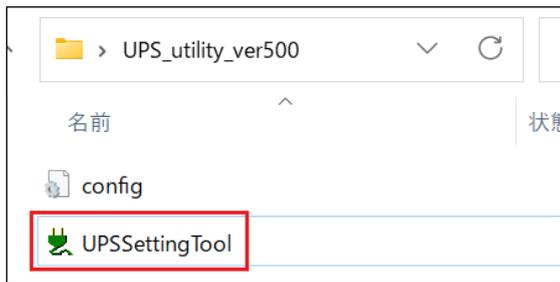
UPS 設定ユーティリティのバージョンについて

電源出力ロック解除機能は UPS 設定ユーティリティ Ver.5.00 で搭載した機能です。

Ver.5.00 未満 (Ver.4.xx 等) は対応しておりませんので、必ず Ver.5.00 以降をご使用ください。

 2024/5 現在の最新版は Ver.5.00 です。

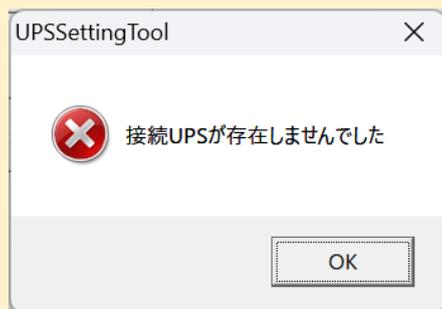
4. UPSSettingTool (UPSSettingTool.exe) をダブルクリックし、UPS 設定ユーティリティを起動します。



5. 「UPS 自動接続」をクリックし、検出された「UPS 型式」が正しいこと、「出力ロック状態」が「未解除」であることを確認します。



注意



上記警告が出て UPS に接続できない場合は、以下を確認してください。

- ① PC に UPS が接続されていない
PC と UPS が UPS 付属の USB ケーブルでしっかり接続されているか確認してください。
- ② 自動シャットダウンソフトが UPS を占有している可能性
PC に UPS 付属の自動シャットダウンソフトをインストールしている場合はこれを停止してください。

🔗 「自動シャットダウンソフトの停止」(P.14) 参照

6. 「CSV 入力」 ボタンをクリックし、キーコードの入った CSV ファイルを選択します。

注意

キーコードの入った CSV ファイルを開いていると選択できません。必ず閉じてください。

7. 製品番号の右にキーコードが表示されていることを確認したら「設定書込」ボタンをクリックします。

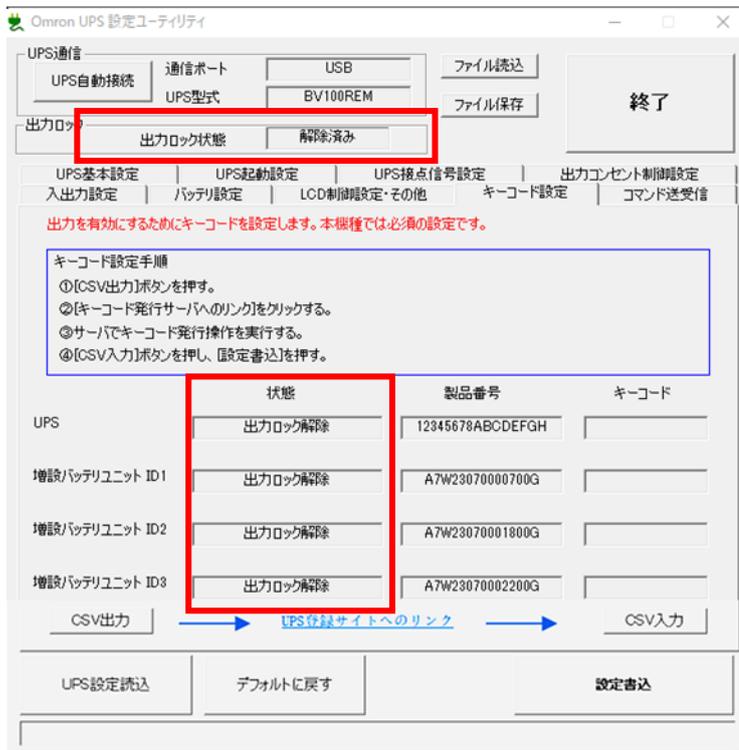
注意

キーコードが空欄の場合は、CSV ファイルを開いて以下のデータが記載されているか確認してください。

- ・解除しようとしている UPS や増設バッテリーユニットの製品番号が記載されているか
- ・製品番号の横にキーコードが記載されているか

	A	B	C	D	E	F
1	行番号	製品番号	キーコード	キーコード	自由入力欄	エラー内容
2	2	12345678	'0000	'110100101		
3	3	A7W23070	'0001	'1110010100		
4	4	A7W23070	'0002	'110011001		
5	5	A7W23070	'0003	'0010000010		

8. 「出力ロック状態」欄が「解除済み」、UPS 及び増設バッテリーユニットの「状態」欄が「出力ロック解除」であることを確認します。



以上で電源出力ロックの解除は完了です。

「終了」ボタンをクリックし UPS 設定ユーティリティを終了してください。

参考

自動シャットダウンソフトのサービスを開始するには…

UPS 設定ユーティリティ使用前に自動シャットダウンソフトのサービスを停止した場合は、UPS 設定ユーティリティ終了後、サービスを開始してください。

● タスクトレイのアイコンで停止した場合

「×がついた常駐アイコン」を右クリックし「エージェント起動」を選択します。

常駐アイコンの「×」が消えればサービスは開始されています。

● サービスから停止した場合

「PowerAttendant Service のプロパティ」で「開始(S)」ボタンをクリックします。

「PowerAttendant Service のプロパティ」の開き方は P.15 手順 3 以降を参照してください。

続いて、UPS の起動確認をしますので、次ページ「4. UPS を起動する」に進んでください。

4. UPS を起動する

電源出力ロックの解除後は、電源スイッチの長押しで UPS が起動し商用運転モードになります。

  スイッチを長押しして、ブザーが「ピー」(連続音)と鳴ったら指を離します。

<商用運転モード>  : 点灯  : 充電中は点滅 (2 秒間隔)、満充電時は消灯

参考

● 起動時の LED 表示

UPS 起動時に自己診断テスト (10 秒間の放電テスト) が実行されると  が点灯します。

※ 起動時にバッテリー残量が少ない場合、自己診断テストはスキップします。

● UPS 停止方法

商用運転中に電源スイッチを長押しして離すと UPS が停止 (出力停止) します。

  スイッチを長押しして、ブザーが「ピー」(連続音)と鳴ったら指を離します。

以上で電源出力ロック解除の手順と起動確認は終了です。

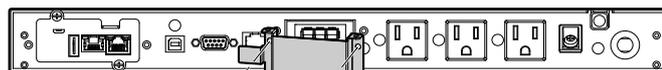
付録

増設バッテリーユニットの接続と給電

UPS を商用電源に接続する前に、増設バッテリーユニットを接続します。

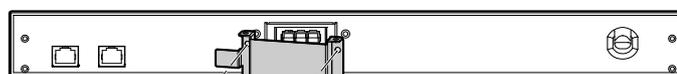
1. UPS 背面のバッテリー増設コネクタカバーを取り外します。増設バッテリーユニットを 2 台以上接続する場合は、中継になる増設バッテリーユニットのカバーも取り外します。

UPS 背面



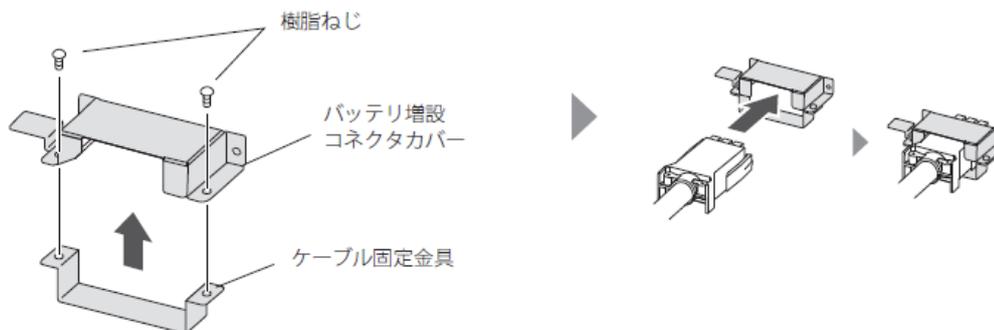
バッテリー増設コネクタカバー

増設バッテリーユニット背面



バッテリー増設コネクタカバー

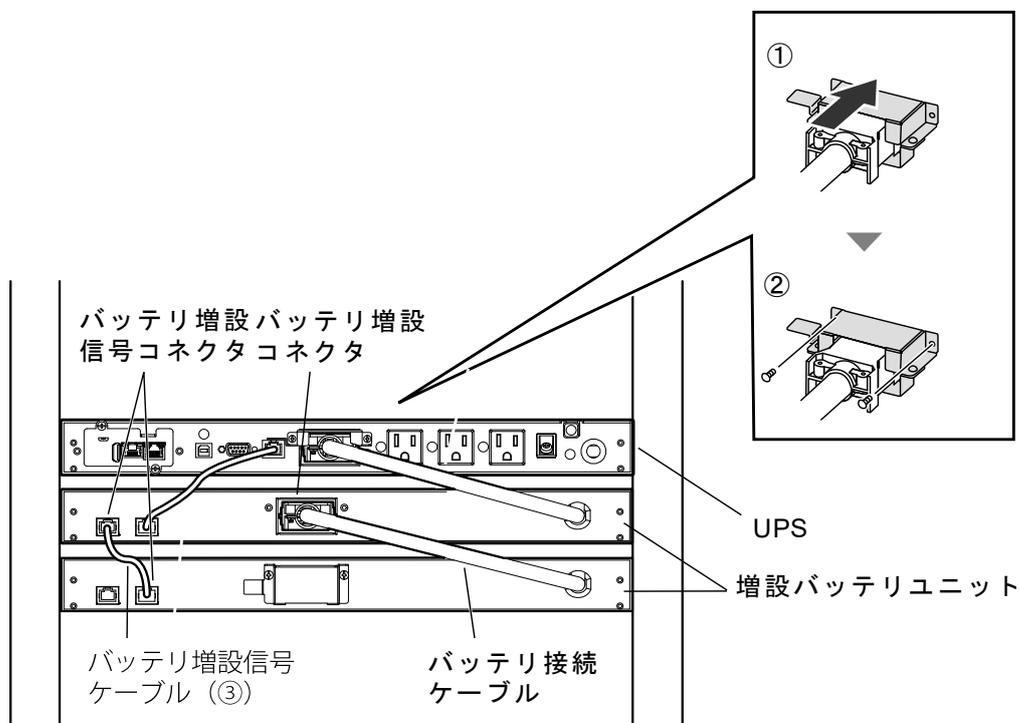
2. 増設バッテリーユニットに付属しているケーブル固定金具を、手順 1 で外したバッテリー増設コネクタカバーに取り付け、増設バッテリーユニットから伸びているバッテリー接続ケーブルのコネクタを通します。



付録

3. バッテリー接続ケーブルを UPS のバッテリー増設コネクタに固定します。増設バッテリーユニットを 2 台以上使用する場合は、増設バッテリーユニット同士も同様に接続します。

- 1) 手順 2 でコネクタカバーを通したバッテリー接続ケーブルを UPS のバッテリー増設コネクタに接続（下図①）。
- 2) 手順 1 で外したねじでケーブルを固定（②）。

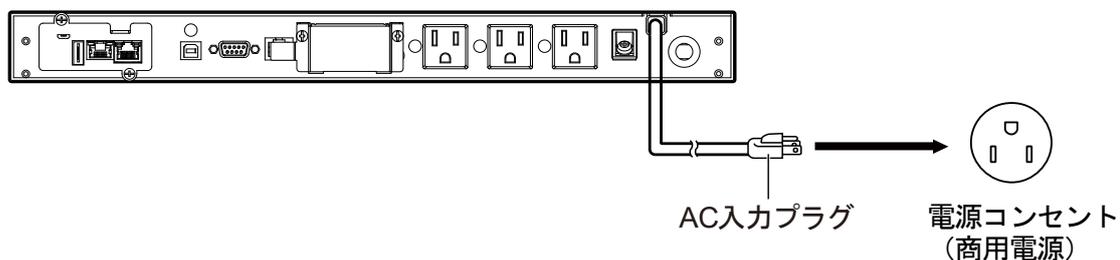


4. 増設バッテリーユニットに付属している「バッテリー増設信号ケーブル（上図③）」で増設バッテリーユニットと UPS を接続します。増設バッテリーユニットを 2 台以上使用する場合は、増設バッテリーユニット同士も同様に接続します。

付録

5. UPSのAC入力プラグを電源コンセント（商用電源）に接続します。

例：BV100REM



参考

- UPSに電力が供給されると  が点滅（2秒間隔）、 が点灯します。

- 増設バッテリーユニットは「Status」が点滅（2秒間隔）します。
ID1 / ID2はID設定により点灯又は消灯しますが、工場出荷値はID1のみ点灯します。

<ID1設定>

ID1	ID2	Status
		

- ※ ID2設定：「ID2」のみ点灯
- ※ ID3設定：「ID1」、「ID2」両方が点灯

以上でUPSと増設バッテリーユニットの接続、給電は完了です。

増設バッテリーユニットが1台の場合は、「3. 電源出力ロックを解除する」(P.3)に戻ってください。

増設バッテリーユニットが2台以上の場合は、IDの変更が必要です。次ページの「増設バッテリーユニットのID設定」に進んでください。

付 録

増設バッテリーユニットの ID 設定

増設バッテリーユニットが 2 台以上の場合、ID1 が重複しますので、ID の変更をしてください。増設バッテリーユニットは最大 3 台まで接続可能で、ID は 1～3 で設定します。

注意

増設バッテリーユニットの ID 設定中に警告ブザー

本製品は ID 設定後（UPS と増設バッテリーユニットの通信確立後）に、ID を変更すると通信エラーの警告ブザー（2 秒間隔）が鳴ります。

例) 増設バッテリーユニットが 2 台の場合

UPS - ID1 - ID1 →工場出荷値のままだと ID1 が重複しているので通電しても通信は確立しない

→片側を ID2 に変更（UPS - ID1 - ID2 又は UPS - ID2 - ID1）して ID 重複を解除すると、通信が確立する

→UPS - ID2 - ID1 で通信確立した後に、ID を再変更（UPS - ID1 - ID1 や UPS - ID2 - ID3）すると通信エラーを検出

※条件が揃ってから通信確立まで 5 秒以下のタイムラグがあります。

※問題が発生してから通信エラーを検出するまでのタイムラグも 5 秒以下です。

■通信エラー時の LED 表示とブザー

UPS の警告 LED が点灯 / 2 秒間隔でブザー断続鳴動



■通信エラー時の対処方法

- ① UPS の  スイッチを 1 秒程度押し、指を離す（指を離すとブザーが止まります。）
- ② ID 設定を済ませる（ID の重複解除等）
- ③ UPS の AC 入力プラグを電源コンセントから抜き、UPS と増設バッテリーユニットの LED が消灯するまで待つ
- ④ UPS の AC 入力プラグを（商用電源）に接続する

※上記 ③ UPS の完全停止、④ UPS に給電、の流れが通信エラーLED 表示のリセット手順です。

付 録

<増設バッテリーユニットのスイッチと LED>

☉ : 点灯 ☉ : 点滅 ○ : 消灯



「ID」スイッチ 「メンテナンス」スイッチ

1. 増設バッテリーユニットの LED 状態が「スタンバイモード」であることを確認します。

<スタンバイモード>

┌ID3┐		Status
ID1	ID2	
☉	○	☉ 2 秒間隔

2. **ID** スwitchを長押し（5 秒以上）し、「ID1」が早点滅（0.5 秒間隔）したら離して「ID 設定モード」に移行します。

<ID 設定モード>

┌ID3┐		Status
ID1	ID2	
☉ 0.5 秒間隔	○	☉ 2 秒間隔

付録

3. **ID** スイッチを押して、ID2 または ID3 に変更します。5 秒以上ボタン操作が無いと ID が確定します。

ID1 : ID1 点滅

ID3		Status
ID1	ID2	
 0.5 秒間隔		 2 秒間隔



ID2 : ID2 点滅

ID3		Status
ID1	ID2	
	 0.5 秒間隔	 2 秒間隔



ID3 : ID1 と ID2 両方点滅

ID3		Status
ID1	ID2	
 0.5 秒間隔	 0.5 秒間隔	 2 秒間隔



以上で増設バッテリーユニットの ID 設定は完了です。

引き続き「3. 電源出力ロックを解除する」(P.3) に戻って製品番号を取得してください。

付 録

自動シャットダウンソフトの停止

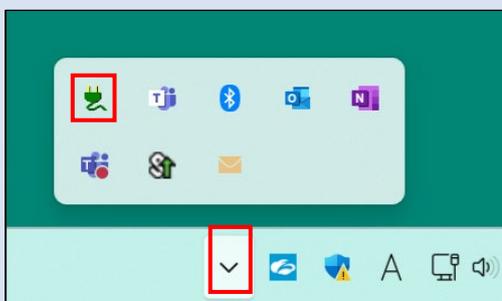
UPS と PC を USB ケーブルで接続しているが、UPS 設定ユーティリティで UPS が検出できないときは、自動シャットダウンソフトが UPS を占有している可能性があります。以下の手順で自動シャットダウンソフトのサービスを停止してください。

1. タスクトレイの自動シャットダウンソフトの常駐アイコンを確認します。



参考

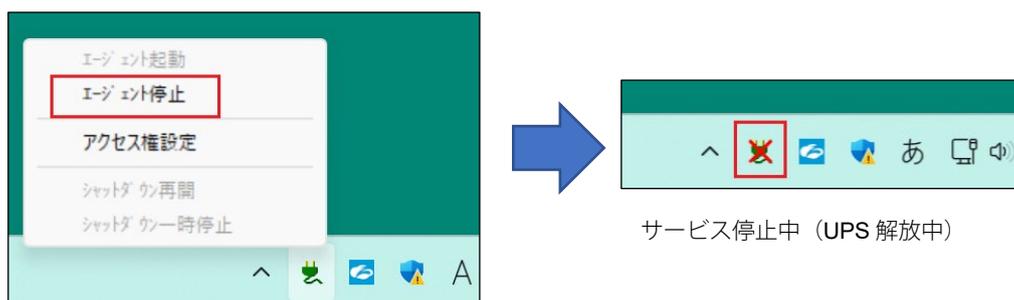
タスクトレイにアイコンが表と示されていない場合は、「^」をクリックしてアイコンを確認してください。



2. 常駐アイコンを右クリックし「エージェント停止」を選択します。

常駐アイコンに「×」がついたらサービスは停止していますので、P.4 の手順 5 に戻ってください。

常駐アイコンの右クリックでメニューが出ない場合は次ページの手順 3 へ進んでください。



※自動シャットダウンソフト毎に表示されるメニュー内容は異なります。本例は PowerAct Pro です。

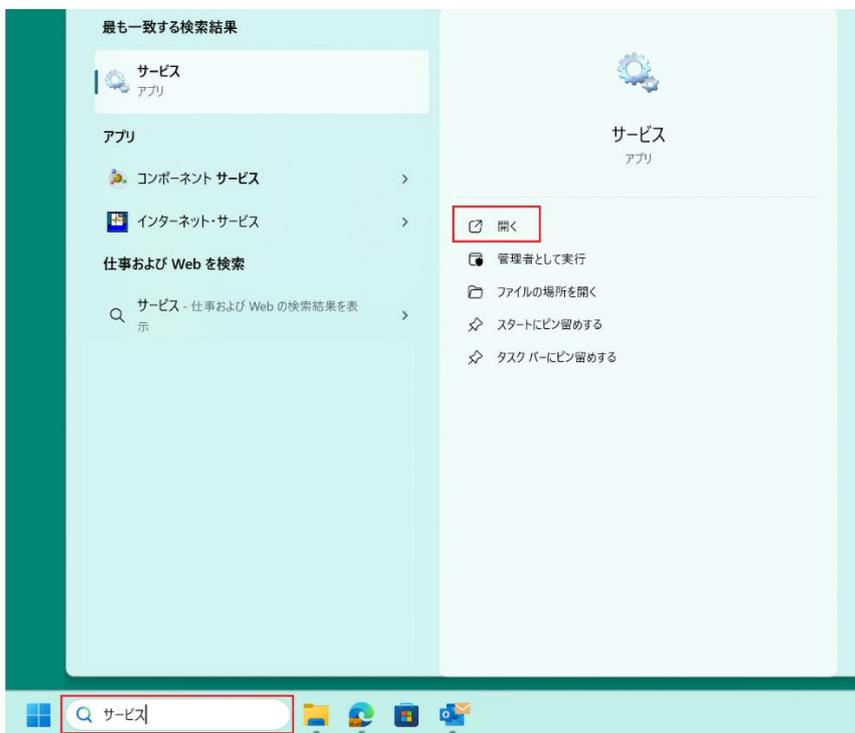
参考

自動シャットダウンソフトのサービスを開始するには…

「×がついた常駐アイコン」を右クリックし「エージェント起動」を選択します。常駐アイコンの「×」が消えればサービスは開始されています。

付録

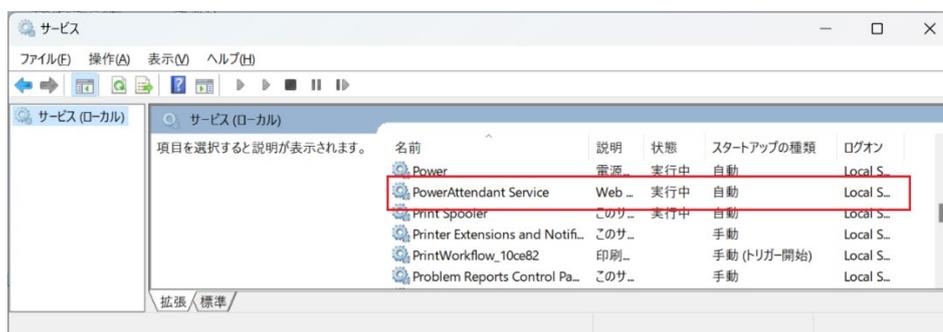
3. 検索バーで「サービス」を検索し、サービスを開きます。



参考

「スタート」を右クリック、「ファイル名を指定して実行」に「services.msc」と入力して、サービスを開く方法もあります。

4. 「PowerAttendant Service」をダブルクリックします。



付録

5. 「PowerAttendant Service のプロパティ」で「停止(T)」ボタンをクリックし、サービスを停止します。



参考

サービス停止後は、上記プロパティ画面で「開始(S)」ボタンをクリックするとサービスが開始されます。

以上で自動シャットダウンソフトの停止は完了です。

「PowerAttendant Service のプロパティ」、「サービス」画面を閉じて、P.4 の手順 5 に戻ってください。